

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 観 点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
1 基本的な生活習慣を身につけ、自己の研鑽に努め、信仰の薫育、奉仕の精神を養うとともに「公德心」を育成する。	① 合掌と賛歌、瞑想の朝礼礼拝を行い、一日の学びの始まりに心を落ち着かせ、自分を見つめる。朝礼時の担任から生徒への語りかけは薫習の場とする。	宗教科 学担会 総務	生徒の聞く姿勢に目を配り、何を語りかけるか準備をする先生方が多く見られる。先生方の個性と信頼が結びつき、新しい人間性が育まれている。	【努力指標】 心を落ち付かせ素直に自分を見つめる時間とし担任の言葉が生徒に届くものとなっているか。	心静かに落ち着かせ1日の「始まり」の場に A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が10%以上 においては内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	② 宗教の授業や宗教行事(花まつり、報恩講)を通じて、自己の内面を省みる。	宗教科	宗教の授業や宗教行事を通して学んだことは、宗教文集「預流」にまとめられている。	【努力指標】 授業や宗教行事での学びは、自分を見つめる時間となっているか。	自分の生き方を考えることが出来た。 A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が15%以上 において内容を検討する。	心の教育に資する。 生徒に対してアンケートを実施する。
	③ 本校の根幹である宗教教育についての認識を深める研修の機会を持つ。	宗教科 第1学年	一年生は東本願寺にて1泊2日の宿泊研修を10月に行い「本当に生きること」とは何かを学んでいる。3年度はコロナ禍により、感染拡大防止策として日帰りで実施した。	【努力指標】 講話をはじめ研修が有意義と感じたか。	上山研修は A とても有意義であった B まあまあ有意義であった C あまり有意義ならなかった D 有意義でなかった	C・D評価が15%以上 において内容を検討する。	心の教育に資する。 生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 基本的な生活習慣の定着を目指し、生徒の心に届くよう、我々教師が率先垂範を心掛ける。また自己肯定感を養い、生徒の心に火をつける指導を目指す。	総 務 教 務 生徒指導	高校教育は社会性を身に付ける最後の時期と捉え、様々な学習活動を活かし、心や人間関係づくりに取り組み、規範意識や基本的な生活習慣を身に付ける。	【成果指標】 具体的に項目をあげ学校生活を主体的に取組んでいると自己評価できるか。	規範意識や基本的な生活習慣を身につけ A 十分に定着し取り組んでいる B まあまあ定着し取り組んでいる C あまり定着せず取り組んでいない D 取り組んでいない	C・D評価が15%以上 で指導体制を強化する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑤ 清掃は共に学ぶ場の確認であり、場への尊敬である。「掃除は自分たちの生活の答案である」と伝え、奉仕と思いやりの心を育む。	総務(管理) 生徒会 生徒指導	見返りを求めず仲間とともに清掃に励む姿を見る。校舎も11年目を迎え、新たな10年に向けより丁寧に使う習慣と「奉仕のこころ」を育む指導を目指したい。	【成果指標】 一人ひとりの生徒が気持ちよく清掃(奉仕)活動に向きあえたか。	清掃活動に気持ちよく向き合えたか A 主体性に取組んでいる B まあまあ取組んでいる C あまり取組んでいない D 取組んでいない	C・D判定が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑥ 幅広い読書を意欲的に行うことで、思考と情操を深め、自らの人格形成に生かす生徒の育成を図る。	図書館 総 務	読書を通して主体的な学びに結びついたと、3年度の3年生からの声を得られた。読書の啓発指導が活かされているように感じる。	【努力指標】 教養、感性、価値観を身に付ける為には不可欠であり、定着しているかどうか。	読書に親しむ機会が A とても増えた B まあまあ増えた C あまり増えていない D 増えていない	D判定は意欲を促進 する内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
2 各科・コースでの目標にそった「学びの保障」を目指し、指導力の向上に努め、生徒一人ひとりの進路実現に対する個別指導を重視し学習意欲の涵養に努める。	① 各教科において、興味、関心、意欲を引き出す授業の確立に向けて、教材の精選と指導法の工夫改善に努める。	教務(研修) 教科	興味、関心、意欲を持たせる授業を目指し、教師間の相互理解を深め、授業互見や研究授業を行っている。また、オンライン研修なども活用し研鑽に励んでいる。	【努力指標】 授業は分かりやすく工夫されているか。	授業の工夫を実感している生徒の割合 A よく工夫されていると感じる B まあまあ工夫されていると感じる C あまり工夫されていないと感じない D 工夫されていると感じない	C・D評価が25%以上 において教務課を中心に改善策を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	② 生徒達への「学びの保障」の実現に向け、指導力の充実に努め自己研鑽に励む。	教務 教科	新学習指導要領の対応を目指し先生方はそれぞれの専門性を高めるために自己学習に努め同僚と学び合い、協働しながら自らの動機づけに繋げている。	【努力指標】 指導力向上を目指し自己研鑽に努めたか。	先生方の自己研鑽に励んだ意識調査 A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が25%以上 において教務課を中心に改善策を検討する。	先生方に対してアンケートを実施する。
	③ 普通科のビジネス、進学、特進の各コースと体育科の特色あるカリキュラムがより顕在化するよう研究と指導に励む。	各コース 体育科 教科	各コース、科において級、資格検定の合格率、取得率を高めるために、指導や学習方法の工夫に繋げる。	【満足度指数】 各コースの特色ある指導に、学習習慣が身につく、各種検定資格など取得できたか。	生徒の取り組みについての自己評価 A よくあてはまる B まあまああてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない	C・D評価が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 各学年において、一貫したキャリア教育を通して、職業観や勤労意欲の育成に努め、よりよい進路選択の一助とする。	進学 就職	コロナ禍で企業実習や進学ガイダンスなど中止となる中で、それを補う為の面談や応募前見学と面接指導で、生徒達の希望に添える結果が得られている。	【努力指標】 各学年で実施されたキャリア教育において、生徒自身が、有意義なものと感じているか。	実施されたキャリア指導が A とても役立つ B まあまあ役立つ C あまり役立たなかった D 分からない	C・D評価が25%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	⑤ 「総合的な探究」の時間において、各コース、科で進路指導について立案・実施し、ホーム担任の面談や試験後の事後指導で自己実現に向け意識を高める。	教務 進学 就職	キャリア教育を推進し、進路意識の高揚を図り、学習意欲向上につなげている。また、具体的学習方法や実践的アドバイスなどを両指導部と学年団との連携を図る。	【努力指標】 担任との面談が自分の進路目標設定や進路実現に有効であると考えている。	進路指導において担任との面談が A とても役立つ B まあまあ役立つ C あまり役立たなかった D 分からない	D評価が25%以上 において内容、指導方法を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
3 地域に根ざした学校であることを認識し、生徒・保護者・教職員そして地域の方々の四者が敬愛と信義の念を持ち、連帯感を大切にします。	① 「花見まつり」や「宗教・公開講座」を開催し、地域の方々との交流を通じ、本校との連帯感を深める。	総務 保健体育 生徒会 PTA	地域の方々の本校に対する要望や期待感がうかがえ、職員間でも意識が高まっている。また、浄土真宗の教えに学びの場を求められる声が多い。	【成果指標】 地域の方々に本校の教育活動に理解を得られているか。	本校の教育活動が地域に A よく理解していただいている B まあまあ理解していただいている C あまり理解していただけない D 理解していただけない	C・D評価が25%以上 において内容を検討する。	宗教講座に参加された方々やPTA役員へのアンケートを実施する。
	② 登下校時、通学路として利用している学校周辺道路を、全校生徒で清掃活動を実施し、行政企画の「わが町美化ピカ隊」への参加とする。	総務(管理) 全学年 (PTA)	コロナ禍で後期のみ実施となったが、各部活動での奉仕活動の様子が見られる。共生する地域からの思いに気づかせ、生徒達の心に「奉仕の芽」が育まれている。	【努力指標】 環境美化の心を育み 主体性を持って取り組めたか。	奉仕活動に対しての自己評価は A 積極的に取り組めた B まあまあ取り組めた C あまり取り組めなかった D 取り組めなかった	C・D評価が30%以上 において内容を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	③ 交通安全対策を積極的に推進するとともに、交通マナー向上に努める。また蛍光タスキを配り夜間の安全を確保するとともに両具の携行を義務づけている。	生徒指導 生徒会	生徒達の意識調査では交通マナーの意識は高い。しかし、『ながら』使用からマナー、モラルを見失いがちである。生徒の現状を見極め先見の注意喚起を大切にします。	【成果指標】 交通規則を遵守して、 マナー、モラルを心掛けているか。	交通マナー、モラルにおける自己評価は A よく守っている B まあまあ守っている C あまり守っていない D 守っていない	C・D判定が10%以上 で指導体制を強化する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 危機管理意識を高め、事故防止と発生時の救急対応に万全を期す。また、頻発する自然災害に対し、防災教育を見直していきたい。「三大訓練の実施」	総務 保健体育 生徒指導	非常時の対応や避難行動を学ぶ良い機会となっている。事前、事後指導があつての訓練であり、反省を踏まえて、マニュアルの再点検や新たな試みを計画してみたい。	【成果指標】 不慮の事故防止のため の研修・実施訓練 を行っている。	危機管理に関する校内教員研修・訓練を A 年間3回以上行った B 年間2回行った C 年間1回行った D 行わなかった	C・Dにおいては日程 ・内容を検討する。	危機管理として 防災訓練を6月 ・11月、AED講習を5月に予定。
	⑤ 保護者が本校の教育活動に参加する機会を増やすことで、生徒の様子を直にご覧いただき保護者との連携・支援を図る。	総務 生徒会	保護者の教育活動に参画する機会がなかなか設けることができなかった。従来通りではなく、新たな企画への転換期と捉えている。	【成果指標】 保護者が学校行事に 参加して頂くことで、 職員との連携を深め、 教育活動に繋げる。	本校の教育活動に対して A よく理解することができた B ある程度理解することができた C あまり理解できない D 理解できない	C・D判定が15%以上 で日程・内容を検討する。	PTA役員へのアンケートを実施する。

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
4 生徒会活動、部活動への参加意識を高め、自主・自立・協調の精神を育成し、心身の健全な発達を目指す。	① 部活動の活性化を通じて、生徒の自主性や自立心の育成を目指す。一年生の全入部制を謳い活動内容の充実・向上を図る。	生徒会 第1学年 学年	各部の高い充実度を感じるが、競技力だけを求めず、育てることを見失わないよう目を配り、最後までやり遂げる意義を伝えていきたい。	【満足度指数】 生徒達が部活動運営や方針に対し充実感を抱き、満足しているかどうか。	指導方針や活動内容に充実感を抱き A かなり満足している B まあまあ満足している C あまり満足していない D 満足していない	C・D評価が10%以上 において指導体制を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	② 生徒一人ひとりの生徒会活動への参画意識を高め、生徒達自らの意見を十分取入れた活動を行う。	生徒会 学年	コロナ禍の状況の中で企画検討し、執行部を中心に主体的に活動している。生徒会と教職員との信頼関係がみられ、活動はとても有意義なものとなっている。	【成果指標】 生徒自身が主体的に活動しているか。	生徒会活動が生徒達にとって A とても有意義なものとなっている B まあまあ有意義なものになっている C あまり活動していない D 活動していない	C・D評価が30%以上 において活動のあり方を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	③ 公安・保健委員会による挨拶・交通安全啓発活動やコロナ感染対策の呼びかけなど、生徒達自らが行動に繋げられるよう働きかける。	生徒会	交通マナー、JR乗車マナー、服装容儀、挨拶において年々向上していると感じられる。また、コロナ禍において生徒達の声で感染予防の啓発活動につなげていきたい。	【努力指標】 集団や社会の一員として、ルール・マナーやモラルが身についているか。	規範意識を身に付けられるよう A 積極的に取り組むことができた B ある程度取り組むことができた C あまり取り組むことができなかった D 取り組めなかった	C・D評価が30%以上 において活動のあり方を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。
	④ 鑑賞や創作を通して情操陶冶と健やかな人間形成に役立つ。	生徒会 国語科	文化教室ではキャストを本校に招き、ライブの臨場感を楽しむことが出来た。短歌俳句大会では7月開催となり、行事が少い中での創作となったが興味を持って行えた。	【満足度指数】 鑑賞や創作に意欲的に取り組めたか。	豊かな感性を育むことに A とても役立った B まあまあ役立った C あまり役立たなかった D 役立たなかった	C・D評価が25%以上 において活動のあり方を検討する。	生徒に対してアンケートを実施する。